

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	60%	自校A B層の割合	50%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・校内研修、OJTの充実 ・若手教員の支援体制の充実 ・特別支援学級との交流	・タブレット端末を利用した学習 ・東京ベーシックドリルを活用した実態に応じた個別指導 ・放課後補習教室や担任による個別指導 ・読書の推進	・宿題の完全実施 ・スタディウィークをきっかけとした学習習慣の確立、家庭との連携 ・SNS学校・家庭ルールの徹底 ・校内研究を通じた、家庭、地域との連携
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	・視覚的、聴覚的に配慮したユニバーサルデザインの授業づくり ・デジタル教科書やタブレットの活用 ・具体物の操作 ・長期休業中の研修機会の確保	・タブレット端末を活用した補充学習 ・ミライシードの活用 ・学力向上委員会主導による取組の推進 ・放課後補習教室の講師との連携	・江戸川っ子スタディウィーク ・えどダブルルール ・ミライシードを毎日活用する
成果指標	○「自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作りだしたりする活動を行っていましたか」に対する肯定的な割合が65% ○校内の独自アンケートによる、国語、算数に対する肯定的な意見が80%以上	○学力調査質問用紙「授業の内容はよくわかりますか」に対する回答が85%以上 ○国語・算数のCD層が50%以下 ○東京ベーシックドリルの正答率70%以上	○ゲーム、SNS、動画視聴に関係する時間が2時間より少ない児童生徒の割合が60% ○授業時間以外の勉強時間が1時間以上の割合が70%